国際都市シンガポールと国際都市ジュネーブ

Dr Alexander Ressos, TEP
Attorney-at-Law (Switzerland and Germany),
Solicitor (England & Wales and Hong Kong)
Of Counsel, KGP Legal LLC
alexander.ressos@kgplegal.com.sg
www.ressos.com.sg

受け入れの二つのモデル

両都市の違いは、まず数字に表れています。在ジュネーブ国連スイス政府代表部によれば、ジュネーブ州には、スイスに置かれた48の国際機関のうち40が所在し、さらに数百の非政府組織と国連加盟185か国の常駐代表部が置かれています。2021年、国際機関は同州で2万7,967人の雇用を生み出し、2020年の総支出額は64億4,600万スイスフランに達しました。ジュネーブ金融センター財団（Fondation Genève Place Financière）によれば、ジュネーブの金融センターは3万8,000人を超える雇用を擁しており、規模は同程度です。[1]

国際都市としてのシンガポールは、はるかに小規模です。金融分野で最大の国際的雇用主である世界銀行グループのハブでも、職員数は300人をわずかに上回る程度です。本章で取り上げるその他の機関の職員数は、数十人から数百人程度にとどまります。両都市は異なるモデルをたどってきました。ジュネーブが受け入れているのは、全世界を対象とする任務をも

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

ち、保健や労働から貿易、電気通信、人権に至るまで幅広い分野を扱う普遍的な機関です。これに対しシンガポールが受け入れているのは、主として地域的な機関や事務所であり、その分野は貿易、マクロ経済サーベイランス、中央銀行のイノベーション、開発金融、紛争解決など、自国の経済的利益に近いものです。

起源と動機

この違いは歴史を反映しています。ジュネーブの国際的な役割は、1863年の民間の人道的イニシアティブ、スイスの中立、そして1919年の戦勝国が国際連盟の本部を同地に置くと決定したことから生まれました。それは1世紀半をかけて発展し、今では同市の経済とアイデンティティの柱となっています。シンガポールの国際機関は、過去30年間の意図的な政策の産物です。政府は、銀行や商社の地域統括拠点に対するのと同じ姿勢でこれらの機関に臨んできました。すなわち、ハブ間の競争において同市の地位を強化する資産として扱ってきたのです。

中立が果たす役割も、両者で異なります。1815年に列強によって承認されたスイスの永世中立は、ジュネーブをあらゆる陣営にとって受け入れ可能な場所にしました。[2]シンガポールは法的な意味で中立ではありません。同国は、第F部第IV章で述べるとおり、大国間の均衡政策を実践しています。受け入れ国としての地位は、有能さと公平な行政に対する評価に支えられています。中国と日本の双方を加盟国に含むAMROのような地域機関にとって、その評価は十分なものであることが証明されてきました。

バーゼル、ジュネーブ、シンガポール

もう一つの比較の観点は、金融の基準設定機関の所在地です。ジュネーブもシンガポールも、国際決済銀行（BIS）やそれに付属する委員会を受け入れていません。スイスはそれらをバーゼルに擁しています。バーゼルはジュネーブから列車ですぐの距離にあり、同じ法体系の中にあります。一

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

方、シンガポールは別の大陸に位置しています。2019年にバーゼルとチューリッヒに事務所を置いて開設されたBISイノベーション・ハブのスイス・センターはスイス国立銀行とのパートナーシップであり、シンガポール・センターがシンガポール金融管理局（Monetary Authority of Singapore、MAS）とのパートナーシップであるのと同様です。[3]こうして両金融センターは、中央銀行のイノベーションのネットワークにおいて類似した位置を占めています。

ジュネーブの国際機関は、世界貿易機関（WTO）、国連貿易開発会議（UNCTAD）、そして各機関自身の年金基金や財務部門を除けば、金融との直接的な結びつきはほとんどありません。シンガポールの国際機関は金融により近く、そのため総体としての比重ははるかに小さいものの、金融センターへの直接的な効果は相対的に大きくなっています。両都市はいずれも、国際機関から無形の恩恵を得ています。国家や機関が活動の場として選ぶ場所だという評価であり、それは民間の顧客や投資家に安心感を与えます。

脆弱性

どちらのモデルにも弱点があります。ジュネーブが普遍的な機関の予算に依存していることは、2025年に明らかになりました。ジュネーブ巻が述べるとおり、米国の拠出金削減により人員削減が行われ、機能がより安価な都市へ移転されたのです。[4]シンガポールの国際機関は、多くがアジア諸国の政府によって資金を賄われているため、欧米の予算への依存度は低くなっています。しかし、加盟国間の緊張、特にASEAN+3における中国と日本の間、あるいはAPECにおける中国と米国の間の緊張にさらされています（第K部第V章参照）。

生活費の高さは、両都市に影響を及ぼしています。予算の圧迫を受ける国際機関は、管理機能をより安価な拠点へ移します。これはジュネーブが20年にわたって経験してきた傾向です。オフィス賃料と住宅費がアジアで最

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

も高い水準にあるシンガポールも、地域事務所について同じリスクに直面しています。その対応は、ジュネーブと同様、環境の質を強調することでした。すなわち、接続性、安全、法の支配、そして機関が協働できる他の機関の存在です。

それぞれの都市が学べること

それぞれのモデルは、相手にとっての教訓を含んでいます。ジュネーブは、普遍的な機関の密集したコミュニティが、いかなるマーケティング・キャンペーンでも買えない評価を都市にもたらしうること、そしてその評価が同市に足を踏み入れたことのない顧客にまで届くことを示しています。シンガポールは、受け入れ国の金融行政に組み込まれた少数の厳選された機関が、情報、人脈、地域インフラへの影響力という形で、金融センターに直接的な利益をもたらしうることを示しています。ジュネーブは、特に開発金融やサステナブル投資の分野で、国際機関と銀行との結びつきを強めることで利益を得られるかもしれません。シンガポールは、より幅広く独立性の高い国際コミュニティから利益を得られるかもしれません。そうすれば、受け入れ国としての役割が自国政府の優先事項に左右される度合いが小さくなるでしょう。

数字で見る

APEC：1989年11月にキャンベラで初会合、21の加盟エコノミー、2021年に世界GDPの約62%、世界貿易の48%を占める。事務局はシンガポール。チェンマイ・イニシアティブ：2000年5月6日。CMIM：2010年3月24日に1,200億米ドルで発効、2,400億米ドルに倍増（改正は2014年に発効）。IMFプログラムなしで引き出し可能な割合は2021年以降40%。シンガポールのCMIMコミットメント：91.04億米ドル（3.793%）、最大引出額227.6億米ドル。AMRO：2011年に保証有限責任会社として設立、2016年2月9日以降は国際機関、加盟14か国・地域。IMFシンガポール地域研修所：1998年。EMEAP：1991年、11の中央銀行。シンガポールのBIS加盟：1996年12月。BIS

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

イノベーション・ハブ・シンガポール・センター：2019年。Nexus Global Payments：2025年に5つの中央銀行がシンガポールで設立、2026年以降6メンバー。世界銀行グループのハブ：1999年から事務所、職員300人超。ICSIDシンガポール事務所：2026年8月26日開設。比較対象としての国際都市ジュネーブ：2021年に国際機関40、雇用2万7,967人。

注

1. Ressos, *Genève, place financière internationale*, partie F, chapitre II。Mission permanente de la Suisse auprès de l'Office des Nations Unies à Genève, “La Genève internationale en faits et chiffres”（dfae.admin.ch）を引用：スイスにある48の国際機関のうち40が同州に所在、数百の非政府組織、国連加盟185か国および非加盟2か国の常駐代表部。Ressos, *Genève, place financière internationale*, partie F, chapitre II。Ville de Genève, “Poids de la Genève internationale dans l'économie et l'emploi genevois”（geneve.ch）を引用：2021年の国際機関における雇用2万7,967人、2020年の総支出64億4,600万スイスフラン。Ressos, *Genève, place financière internationale*, partie F, chapitre II。Fondation Genève Place Financière（geneve-finance.ch）を引用：ジュネーブ金融センターの雇用3万8,000人超。 ↩

2. Ressos, *Genève, place financière internationale*, partie F, chapitre I：“La neutralité de la Suisse, reconnue par les puissances en 1815 […] constitue la condition première de la vocation internationale de Genève.” ↩

3. Bank for International Settlements, “About the BIS Innovation Hub”（bis.org、2026年11月最終閲覧）：スイス・センターは“established in 2019, is one of the founding Innovation Hub centres”であり、バーゼルとチューリッヒに事務所を置き、スイス国立銀行とのパートナーシップで運営されている。 ↩

4. Ressos, *Genève, place financière internationale*, partie F, chapitre II。2025年以降ジュネーブの国際機関に影響を及ぼしている資金削減、組織再

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

編、人員削減、および2025年6月20日の連邦参事会による支援措置について。 ↩

Disclaimer

This article is provided for general information only. It is based on publicly available sources as at its date of publication. These sources have not been independently verified against licences, regulatory registers or the records of the entities concerned. It is not legal, tax, financial or investment advice. Nor is it a recommendation to invest in, transact with or use the services of any entity mentioned. Law and regulation change frequently, so the content may be incomplete or outdated. To the fullest extent permitted by law, Dr Alexander Ressos and the publisher of SingaporeIQ exclude all liability for loss or damage arising from the use of or reliance on this article. Readers should obtain advice on their specific circumstances before acting or refraining from action.

Names and trademarks of the entities discussed belong to their owners and are used for identification only. Their mention implies no endorsement, affiliation or allegation of wrongdoing. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. Corrections and updates: contact@ressos.com.

© 2026 Dr Alexander Ressos. This article may be quoted with attribution to SingaporeIQ (SingaporeIQ.com). Reproduction in full and any commercial use require prior written consent. The Legal Terms at https://singaporeiq.com/legal-terms apply.

Author contact: Dr Alexander Ressos, TEP · contact@ressos.com

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.